



草
祝

中村俊定文庫

文庫 18

974





砂松の花見より花見よ花見は乃々今
 の花見ふ花見のり花見か花見こ花見
 あら花見のり花見のり花見のり花見のり

花見のり花見のり花見のり花見のり
花見 浮玉也

花見のり花見のり花見のり花見のり
花見 花見

花見のり花見のり花見のり花見のり
花見 花見八

花見のり花見のり花見のり花見のり
花見 花見

花見のり花見のり花見のり花見のり
花見 大城

花見のり花見のり花見のり花見のり
花見 花見

出きり後山崎のきりひりね 前井

まじりつ花の中山二 大丸

けりま天字中山のきりきりきりきり

兼うけや枝ふ人すむ約むろ後 紹る

かけ波のうけきりきり柳う系天字 河の

しめ候やまも積家のねふ肥後 ち葉

打ちきり枝きりきりめむ柳心肥後 葉友

きりきりのねふきりきりきりあ波 車更

流のまき柳きりきりきり町の端あ波 双牝

ま柳やきりきりぬきり後の端 柳葉

きりきりと柳きりきりきり山崎えん 切張

まきりきりきりきりきりきり柳うれき 勺籠

米掛るふきりきりきりきりきりち 湖流

あきりきりきりきりきりきり柳のむ月 双鳥

けりきりきりきりきりきりきり月 不伝

山城乃山崎きりきり柳心月 士川

羽人の柳きりきりきりきり月 善陰

ちきりきりきりきりきりきりち 泉丸

何れか十年花うつくしきものも
後 玉露
 葉のもしやちひさし世の朝の影
天字 如箭
 ひつもあふやうし思ひしきすれ
後 柳里
 あつかりし白く心も。陸う那
京 玉露
 遠くしきあふりうぬ柳一鏡
後 又橋
 常陸まのまもまきれぬそ
後 里道
 陸やうらうしきまむれまふく
下 古野
 海りうらあふりうぬのまふ
後 一素
 るしあうや梅の影むれまふ
後 祥余

毎物のまもるるまふれ
後 春江
 懐しき人ふくしきう
後 如あ
 山じうけしのおやまふれ
後 忍風
 ねうらうまふれおまふれ
後 平世
 るるの極まうらう。陸う那
後 如来
 赤れちうかまうらう
後 玉露
 平すれはてまのまふれ
後 芙蓉
 葉のまれのまもあも
後 丹月
 きしきうのられまふれ
後 雄尾

ふのもや^三しり日れ白^{信子}
 君のやす^五ぬの上れ^五影^五影^五
 袴^五中^五や^五け^五し^五り^五あ^五の^五
 弱^五き^五け^五る^五し^五り^五あ^五す^五二^五月^五の^五乳^五
 ち^五る^五け^五り^五や^五る^五ま^五く^五は^五る^五十^五の^五あ^五子^五
 ね^五風の^五目^五ま^五さ^五り^五ぬ^五膝^五の^五山^五
 え^五り^五や^五あ^五る^五ま^五の上^五れ^五は^五じ^五り^五ら^五
 お^五ほ^五ら^五ひ^五少^五る^五あ^五る^五そ^五と^五え^五る^五ら^五
 ま^五風^五や^五一^五期^五あ^五し^五搦^五の^五む^五
信子 五子 長崎 信子 下中 信子 五子 五子 天子 江戸
 喜里 後向 車人 月指 官程 竹亭 ぬ雲 眠席 鼻兆

祖父と^五あ^五く^五山^五と^五川^五と^五く^五あ^五ら^五り^五
 昔^五し^五ら^五ひ^五ま^五の^五も^五あ^五ら^五う^五ま^五あ^五山^五
 西^五月^五や^五る^五ま^五も^五出^五れ^五小^五五^五
 小^五正^五月^五お^五ら^五あ^五の^五月^五お^五ら^五
 ち^五る^五の^五あ^五ら^五ま^五て^五お^五ら^五あ^五ら^五あ^五
信子 五子 後 信子 信子
 西河 何桂 如件 卯毛 石存

三つお

旅^五こ^五ろ^五も^五あ^五ら^五ま^五れ^五る^五は^五何^五と^五あ^五ら^五
 ま^五ま^五や^五る^五こ^五の^五あ^五ら^五向^五ひ^五ら^五
 一^五練^五の^五ま^五あ^五り^五移^五ら^五ら^五う^五八^五字^五も^五あ^五
信子 五子 早登
 楓梁 馬寮 西河

東高津へ

ち車しりぞけしおのきかす
 舟おしりぞけしおのきかす
 山里や人をぬくも春の風
 まは月山を照らすふらふら
 杉木の次はまきしよるはる
 川柳の川柳の川柳の川柳
 夕暮や夕暮の夕暮の夕暮
 和井も和井も和井の浦つき
 和井

廻板の下は山おのきかす
 まさるや海のくまもむらさ
 芦まらや山をまきしよるはる
 まは月山を照らすふらふら
 菜をけしおのきかす
 まは月山を照らすふらふら
 りまはるや海のくまもむらさ
 舟をけしおのきかす
 まは月山を照らすふらふら

山うけや馬よるまて風すし
 涼風や木の葉の影をあらり
 すしとや花の影の山のみ
 雲のやすみの影のけしき
 雲うもたへて涼し 影のそ
 すしとやまて人のまをり
 月とまきの思ふまてすみり
 涼しとや木の葉の影のそ
 灯きぬくまき人まむまて
 備後 浴蘭
 藤原 紅葉
 天守 桐葉
 本宿 魚舌
 紀伊 ちん
 其の 赤心
 和名 赤心
 天守 赤心
 本宿 赤心
 月化 月化

すしとや花の影の山のみ
 木の葉の影の影の影
 すしとや木の影の影の影
 涼しとやまて人のまをり
 赤馬の影の影
 備後 浴蘭
 藤原 紅葉
 天守 桐葉
 本宿 魚舌
 紀伊 ちん
 其の 赤心
 和名 赤心
 天守 赤心
 本宿 赤心

涼しとや花の影の山のみ
 箱崎
 藤原 紅葉
 天守 桐葉
 本宿 魚舌
 紀伊 ちん
 其の 赤心
 和名 赤心
 天守 赤心
 本宿 赤心
 月化 月化

大捕りまきれこころもたれ月
 多雲の海山うけしあつのろ
 ちたおや 軒あとうろこた川
 夏の後り相ますめそ山の雲
 ちた西月とそりる力けぬらの
 経おをさそよあぬうねる子
 又月留ちえぬとつく山のぬ
 あやめまき人ち小窓の里より
 ひる影や ちの卵乃春殿

信濃 柳花

藤原 翁年

子守 杏池

藤原 尾橋

藤原 聖壽

藤原 真々

藤原 竹跡

仙臺 二三

婿持 席杖

多雲の海山うけしあつのろ
 ちたおや 軒あとうろこた川
 夏の後り相ますめそ山の雲
 ちた西月とそりる力けぬらの
 経おをさそよあぬうねる子
 又月留ちえぬとつく山のぬ
 あやめまき人ち小窓の里より
 ひる影や ちの卵乃春殿
 ちたおや 軒あとうろこた川
 夏の後り相ますめそ山の雲
 ちた西月とそりる力けぬらの
 経おをさそよあぬうねる子
 又月留ちえぬとつく山のぬ
 あやめまき人ち小窓の里より
 ひる影や ちの卵乃春殿

天守 乙馬

天守 乙馬

天守 乙馬

天守 乙馬

天守 乙馬

天守 乙馬

天守 乙馬

天守 乙馬

天守 乙馬

天守 乙馬

天守 乙馬

幸村の白のまじり言よふね
 又車の中をくもきくあやめ子
 山ありのワリワリさくぬりあふ
 松夢のかきしあもしむゆふ
 ふくやあきほこしをけけ
 夕顔のこしりほみさうまの
 けし白の撫子かけらも
 けしあてきさくくのきを
 けしあてきさくくのきを
 けしあてきさくくのきを

辰巳

木仙

上杉

藤月

天子

吉馬

ちか

杉雅

下町

百穂

云子

把石

長

梅仙

ちか

壬成

甲斐

嵐外

牛のいんかきまの
 すまのいんかきまの
 湖のいんかきまの
 枝のいんかきまの
 けしあてきさくくのきを
 けしあてきさくくのきを
 けしあてきさくくのきを
 けしあてきさくくのきを
 けしあてきさくくのきを
 けしあてきさくくのきを

大は

信頂

辰巳

梅仙

上杉

む六

天子

け渡

平戸

至長

天子

龜井

天子

斗牛

麦の穂りそよしぬも枝ぞ

うま 知友

ほろほろすしほりかゝるおの山

ほろ 美光

りよのしりほりほりそよ

ほろ 美光

あゝ押さへさみきれの夕

錦目

小舟杖さのほりほり

九能

空お下ろす一歩のふきちれ

牙

新ぼのほりほりほりほり

た

あかもほりほりほりほり

牙

新ぼのほりほりほりほり

太

細ほりほりほりほりほり

牙

よのほりほりほりほりほり

能

ちりりほりほりほりほりほり

牙

ちりりほりほりほりほりほり

牙

ちりりほりほりほりほりほり

牙

ちりりほりほりほりほりほり

牙

ちりりほりほりほりほりほり

牙

山

かゝるゝ一葉のよとさるゝ
 しふゝ一葉のよとさるゝ
 けゝゝ一葉のよとさるゝ
 まゝ田つゝの平らちさるゝ
 細さのよとさるゝ
 まゝいゝまゝいゝ
 さゝいゝまゝいゝ
 ちゝいゝまゝいゝ
 りゝいゝまゝいゝ
 ちゝいゝまゝいゝ

右 牙 右 牙 左 牙 左 牙 左 牙
 右 牙 左 牙 右 牙 右 牙 左 牙

ち 竹 義 ち ら ら ら ら 勢 ち ら
 ち 竹 義 ち ら ら ら 勢 ち ら
 ち 竹 義 ち ら ら ら 勢 ち ら
 ち 竹 義 ち ら ら ら 勢 ち ら
 ち 竹 義 ち ら ら ら 勢 ち ら
 ち 竹 義 ち ら ら ら 勢 ち ら
 ち 竹 義 ち ら ら ら 勢 ち ら
 ち 竹 義 ち ら ら ら 勢 ち ら

右 牙 右 牙 右 牙 右 牙 右 牙 右 牙 右 牙
 右 牙 右 牙 右 牙 右 牙 右 牙 右 牙 右 牙

内をふ海をしの灯りす
荒砂まの根川をきき
そつむよむす道つてはさき
漆の原うはまよりまむね

牙

太

牙

太

大あめ下まゐるよ月うれ
大津路をちりこころもかく
大粒のるうぬまゝ。袷の柳
はこしと袷まゝ。あまら

紀後

文曉

ちか

瑞芝

ち後

法舟

丹後

観道

あつたむわへのせいかかりよき
みりこのやまのりつてあはれ
まゝののりまゝ水のまゝあはれ
岡のおとろまゝしてまゝあはれ
いゝまゝくねまゝあはれ
杉木のまゝあはれ
山越へまゝあはれ
はこしと馬まゝあはれ
かゝるまゝあはれ

丹波

宇柏

ち後

神月

ちか

高聖

丹後

春波

末

花水

紀後

天山

ちか

石原

ちか

末央

中平

夕まふ木のほろろく小原
くろくまのまのまの山
霧あはれかきふらむる那
戸あはれかきふらむる那
抱ひかきふらむる那
むらあふの下ふらむる那
おのちのちのちのちのち
まのちのちのちのちのち
海まのちのちのちのちのち

高 早池
義 定車
天 雀咲
子 素糸
ち け格
後 碧雲母
戸 美蟻
ち 春吹
平 櫻卷

平素の紅葉かきふらむる那
まのちのちのちのちのち
口まのちのちのちのちのち
海山のまのちのちのち
おのちのちのちのちのち
くろくまのまのちのちのち
霧あはれかきふらむる那
戸あはれかきふらむる那
抱ひかきふらむる那
むらあふの下ふらむる那
おのちのちのちのちのち
まのちのちのちのちのち
海まのちのちのちのちのち

尾 士朗
ち 風丸
ち 素士
ち 春吹
尾 朱報

かろふやよろづの女まぢらるる
朝白の下まぢらるる小あやめ
清馬れしつゝあはれなき秋
まのこふよりおとこしおとまり
まぢらるる秋の中へ枝もねしとま
りまぢらるる月おとまりまぢらるる
枝もねしとまぢらるる秋の中
日のちゅうりかぢらるるまぢらるる
みぢらるるはよぢらるるまぢらるる

北后 岫丸
母后 文鳳
河内 成敏
葦原 經方
紀伊 正徳
葦原 守徳
毛門 敏彦
中后 石鏡
五箇

世の中まぢらるるよ
まぢらるるよまぢらるるよ
まぢらるるよまぢらるるよ
秋の白けつまぢらるるまぢらるる
果もまぢらるるまぢらるる
おとまりまぢらるるまぢらるる
まぢらるる人のまぢらるる
秋のまぢらるるまぢらるる
まぢらるるまぢらるる

徳也 三傳人
北后 成石
京 喜徳
ち后 菜九
ち后 文角
車月女
ち后 完史
七文
岳路

日のまじしきさくこぬきまきん

肥後 那物

ちしきしき 月おもひのゆきあま

河内 徐業

まふまふのまみまぬき系羽うぬ

和歌 不見

ままおのらふ 思ふもよぬまお中

きの 窓月

まきまきかきあきまきまきまき

一様

まのけとこしきまきまきまき

木南

まきまきのまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

まきまきまきまきまきまき

丸

軽きよ 壬せの白も神中母
 志うれの善きも老人をうり
 嵐ふもやもそいぬ思ひ
 七のいれおしし 花のぬかり
 あはきんをさるるのこし 櫻じし
 かすむしうしきい峰の白雲
 月むも入し 竹もあふさそ
 古 葦すくろおしし
 坊しき 題目まふさし

右 尾 經 右 尾 官 經 右 尾 經 右 尾 經

あし乃 飯の 湯もおろの
 おしあ、よらぬ 帰る
 雪のあもあをさるる
 細しとくおなを 振つ
 杖のあもぬつ きたる
 昔お中ハ 霧よ林よあり
 あもれとくやの 志らあやれ
 又しとく 終るる
 穂もも 志らあやれ

右 尾 經 右 尾 經 右 尾 經 右 尾 經 右 尾 經 右 尾 經

大いなるものゝうらやまの
 かのうらやまのうらやまの
 うらやまのうらやまのうらやまの
 出しよのうらやまのうらやまの
 きりんげのうらやまのうらやまの
 草のうらやまのうらやまの
 鶯のうらやまのうらやまの
 こころのうらやまのうらやまの
 うらやまのうらやまのうらやまの

龍 尾 龍 尾 龍 尾 龍 尾 龍 尾
 筆 尾 龍 尾 龍 尾 龍 尾 龍 尾
 えは

鶯のうらやまのうらやまの
 秋のうらやまのうらやまの
 七夕のうらやまのうらやまの
 空のうらやまのうらやまの
 道のうらやまのうらやまの
 ちのうらやまのうらやまの
 舟のうらやまのうらやまの
 葉のうらやまのうらやまの
 さのうらやまのうらやまの

ちのうらやまのうらやまの
 秋のうらやまのうらやまの
 七夕のうらやまのうらやまの
 空のうらやまのうらやまの
 道のうらやまのうらやまの
 ちのうらやまのうらやまの
 舟のうらやまのうらやまの
 葉のうらやまのうらやまの
 さのうらやまのうらやまの

龍 尾 龍 尾 龍 尾 龍 尾 龍 尾 龍 尾
 筆 尾 龍 尾 龍 尾 龍 尾 龍 尾
 えは

秋のまの吹まのゆる麻をた
ねるあをけきみしきや秋のゆ
笑ふまも人きまぬくあきむせ
あまのや 略きゆのまゆりより
起さぬて耳まのあし秋のま
かまのまの月まあまをふか
秋のまの楳の下よまゆすま
あまのまのあまのあし秋のま
物まあまのまゆし秋のま

把 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸
芳笠 柳友 芦畔 米丸 里木 芳之 志隅 池内 九馬

秋のまの 稲らふ 嵐おまの
ひまの乃 藤原まの 秋のま
一ひれ人のまのしるや 秋のま
まのの月まの 舞ぬまの 秋のま
吹まのまのまのまの 秋のま
まのまののまのまの 秋のま
まのまののまのまの 秋のま
まのまののまのまの 秋のま
まのまののまのまの 秋のま

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸
春高 葉戸 車大 唐屋 十壺 馬列 尾丹 山

ねのちかひとてみればはるけき日
 けりおのちかひとてみればはるけき日
 ちかひありてあまのちかひありて
 夕のちかひとてみればはるけき日
 ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて

ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて

ちかひありてあまのちかひありて

ねのちかひとてみればはるけき日
 ちかひありてあまのちかひありて

ねのちかひとてみればはるけき日
 ちかひありてあまのちかひありて

ちかひありてあまのちかひありて

ねのちかひとてみればはるけき日
 ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて
 ちかひありてあまのちかひありて

耳にあふもおも枯まん志うむ声 江戸 定朱
 夕うかきもいふあうむ 上野 茅磨
 帆きーらう 子 子鼻
 ねの口 上野 月考
 まし ちあ 可丁
 鳴う 松あ 中夜
 海 あ 松守
 けり ひこ 芦石
 ち 京 定終

掃おきうり う 草
 終 浪む 沼柳
 ち あ 井眉
 漸 紀あ 交亮
 海 あ 草
 の あ 草
 あり あ 草
 久 あ 草

長門 野倉
 伊予 午心
 信濃 娘さ
 丹波 信之
 紀伊 珊さ
 京 栞路
 ちか 寄宿
 江戸 吉就
 尾花乃 ころろ 押や きのこ 京

宋也
 敬妻
 浴衣
 三巻
 丁々
 巴上
 まつ女
 浪舟
 養乳

らるあいのあはなはしりーしりれ を戻 葵守
 夕うらうら 京 布衣
 浮中 う中 厄刃
 らるあいのあはなはしりーしりれ 京 む朴
 らるあいのあはなはしりーしりれ ち後 市吃
 宿 京 柳野
 科 長 玉桐
 宿 志美の 美人
 ね 浪心 長洲

ぬつ 志美の 仁可
 山 志美の 竹茂
 妙 志美の ね人
 手 志美の 千陸
 本 志美の 松子
 本 志美の 杉垣
 本 志美の 吉徳
 本 志美の 仙丸
 本 志美の 加兵

風やー積の雪より花いそ
 ちきりしきやー杖の夕の煙
 空梅の雪ももろくー雪もろく
 雪れーもけむろくしあすもろく
 から水家のあもろくくおね
 入おろーもろくくもろくく小もろく
 ねもろくふもろくく雪もろくく
 灯やのあもろくくあもろくく
 野もろくくあもろくく次紙もろくく

六八

信濃 美濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

山もろくくあもろくくあもろくく
 雪れーもろくくあもろくく
 浦風のあもろくくあもろくく
 能もろくくあもろくくあもろくく
 雪れもろくくあもろくくあもろくく
 山もろくくあもろくくあもろくく
 雪の月もろくくあもろくくあもろくく
 雪れもろくくあもろくくあもろくく
 雪れもろくくあもろくくあもろくく

安波 篤光

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

信濃 信濃

